

野口南っ子 家庭学習の手引き 保護者版

小学校3・4年生では…

学習時間の目安

30～45分

子どもには、自立心が芽生え、自分でやろうとすることが多くなりますが、まだまだ家族の手助けが必要です。好奇心が旺盛になり、行動範囲も広がってきます。みんなと行動することを好むとともに、口答えや反抗が少しずつ見られるようになります。

それらの自我のめばえを、子どもの成長としてとらえ、しっかりと聴いてやり、温かい助言や励ましの言葉かけをすることで、学習に対する興味・関心を高めていきましょう。

学校で学習する主な内容

3年生

- 学年配当漢字（200字）を読み書きする。
 - 国語辞典を使う。
 - 3ケタ、4ケタのたし算・引き算をする。
 - はかりを使って重さを読む。
 - 乾電池や磁石、鏡を使った実験をする。
 - 簡単なことわざを知る。
 - 簡単なローマ字を読み書きする。
 - 2ケタのわり算をする。
 - 加古川市のことについて大まかに理解する。
- など

4年生

- 学年配当漢字（200字）を読み書きする。
 - 小数のかけ算、わり算をする。
 - 分母が同じ分数のたし算、引き算をする。
 - 都道府県の位置を調べたり、漢字で書いたりする。
 - 金属や水、空気の性質及び電気の働きについて理解する。
 - 漢和辞典を使う。
 - 3ケタの割り算の筆算をする。
 - コンパスを使って簡単な図形を描く。
 - 地図を使って場所や地名を調べる。
- など

家庭で学習するときは

- 学習前に、学習する場所の整理整頓をしましょう。
- 学校からのプリント類を家の人にきちんと手渡し、今日の宿題を自分で確かめましょう。
- 何時までに学習を終えるか、目標を立てましょう。
- 夏休みなどには、宿題以外の学習にも挑戦してみましょう。



生活 テレビやゲームは時間を決めましょう

テレビやゲームに夢中になり、長時間の視聴になることがあります。家庭でのきまりを作り、けじめをつけさせることが、子どもの自律心や学習への集中力を育てることにもつながります。保護者が根負けせずに、アドバイスをし続けましょう。また、子どもは、家族のテレビの見方やケータイの使い方などに、影響を受けることがあるので、気をつけましょう。

食 間食を控えて生活習慣病を防ぎましょう

子どもに生活習慣病が増えたのは、間食による肥満が一因と考えられます。間食の弊害は、子どもだけでなく、大人にも同じことが言えます。間食でお腹がいっぱいになれば、夕食が食べきれず、残したりします。それにより、当然、栄養のバランスが大きく崩れます。子どもも大人も、要注意です。

読書 読書で興味・関心・感動の幅を広げましょう

さまざまなジャンルの本を読み、楽しかった本、おもしろかった本、感動した本を家族の中で話題にして、読書の楽しさが広がるようにアドバイスしましょう。

また、子どもの身近な場所に、辞書や図鑑、地図、地球儀などを置いて、知りたいことや疑問に思ったことを、すぐに調べられるようにしましょう。

学習 宿題以外の学習にも挑戦しましょう

宿題以外の自主的な学習に積極的に取り組み、家庭学習のレベルアップを図ってみましょう。そのためにも、子どもが、身の回りの自然や社会のできごとに、目が向くように働きかけましょう。家事を分担し、子どもが進んで行うことも、学びへの取り組みの一つです。

また、学習に少しずつ個人差が出てくる時期です。友だちや兄弟・姉妹と比べるのではなく、「本人のがんばり」をほめましょう。



<国語>

音読 教科書の文章を、1日1回は大きな声で読み、会話文は、気持ちを込めて読みましょう。

漢字 正しい筆順で、「はね」「はらい」「とめ」に気をつけて書きましょう。

国語辞典や漢和辞典の使い方に慣れるよう手元に置き、常に使用しましょう。

<算数>

- 筆算は、ノートの線を使い、位をそろえて書き、手順を確かめながら計算しましょう。
- 手順が長い計算も、集中して順番に計算しましょう。

<自由課題> (夏休みなどに、ふだんできないことに、家族でじっくり取り組んでみましょう)

- 自分の住む町の様子(自然、公園、施設など)を絵に描く、身の回りの材料で工作しましょう。
- 少し長めの本を読み通したり、植物や動物の成長の様子をくわしく記録したりしましょう。
- 地域の行事や、少年団活動などに参加して、気づいたことや感じたことをまとめましょう。